



遙か昔
漆黒の狼と

白い牝鹿が
番になりました



永い永い時を経て
彼らの子孫は
人となり

狼を操り
狼と共に生きる
民となりました



彼らは黒い髪を
持つ子供を「狼」

稀に生まれくる
白い髪を持つ子供を
「白鹿しろじか」と呼びました



白…鹿…？



調べは
ついてるんだ！

どこに
隠してる！



いたぞっ

こっちだ！



先程、早馬からの
知らせがあり
情報通り白鹿様が
発見されたそうです

しかし生活状況が
酷悪だったようで

白鹿様の体調を
鑑みて本隊は時間を
かけてこちらに帰還
するとのことですよ

王宮に情報を
持ってきた行商に
よれば、土蔵に
閉じ込められている
という話でしたが

酷悪？





身体はやせ細り
言葉も喋れない
ようです

村人たちは白鹿誕生を
報告しなかった
理由について頑なに
口を閉ざしております



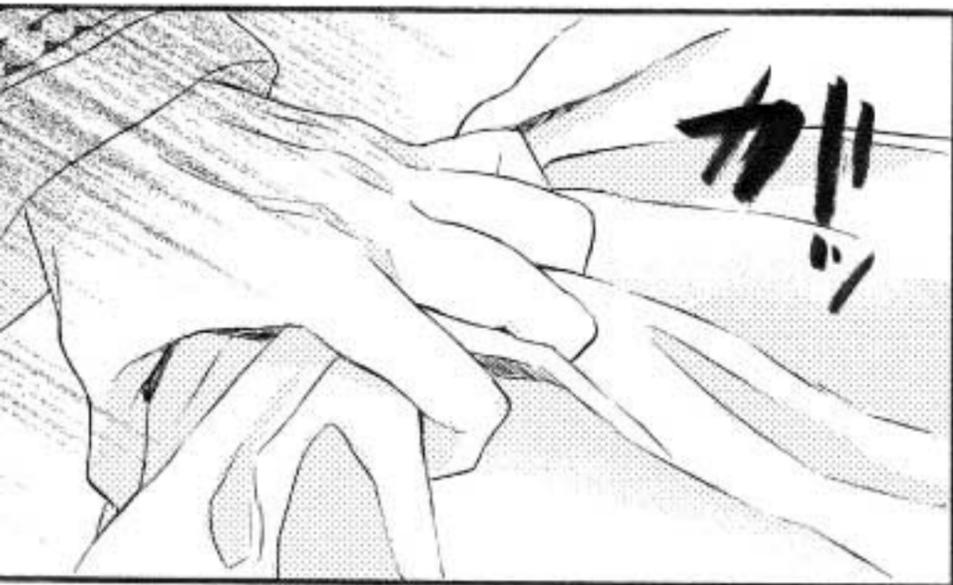
白鹿が生まれた
ことを隠匿
しようとは



大丈夫か？

保護してから
ずっとこの調子で
近づけやしない…

いたっ





っ…
暗い所からっ…
急に引っ張り出されて

戸惑ってるんだらう
からっしばらくっ

こうしていれば…

んんううー

ほら
落ち着いて

ううー

大丈夫
だから

ううー



サマル
隊長

ううー

うー



すまん、とりあえず
ここはまかせて
いいか？

ああ 大丈夫だ
行ってこい

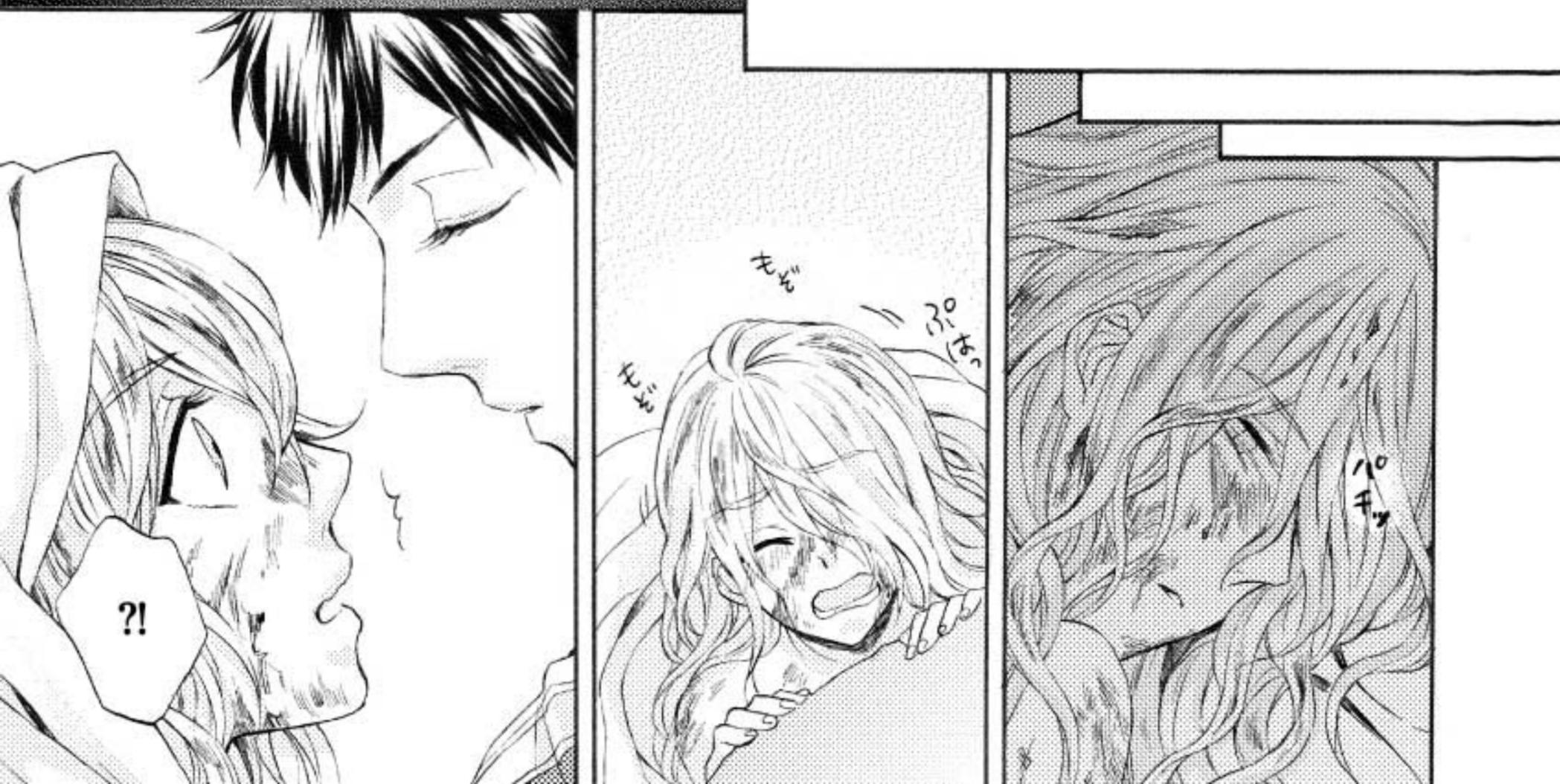
くそっ
こんな時に！

うー

タッ



——まるであの頃の俺のようだ





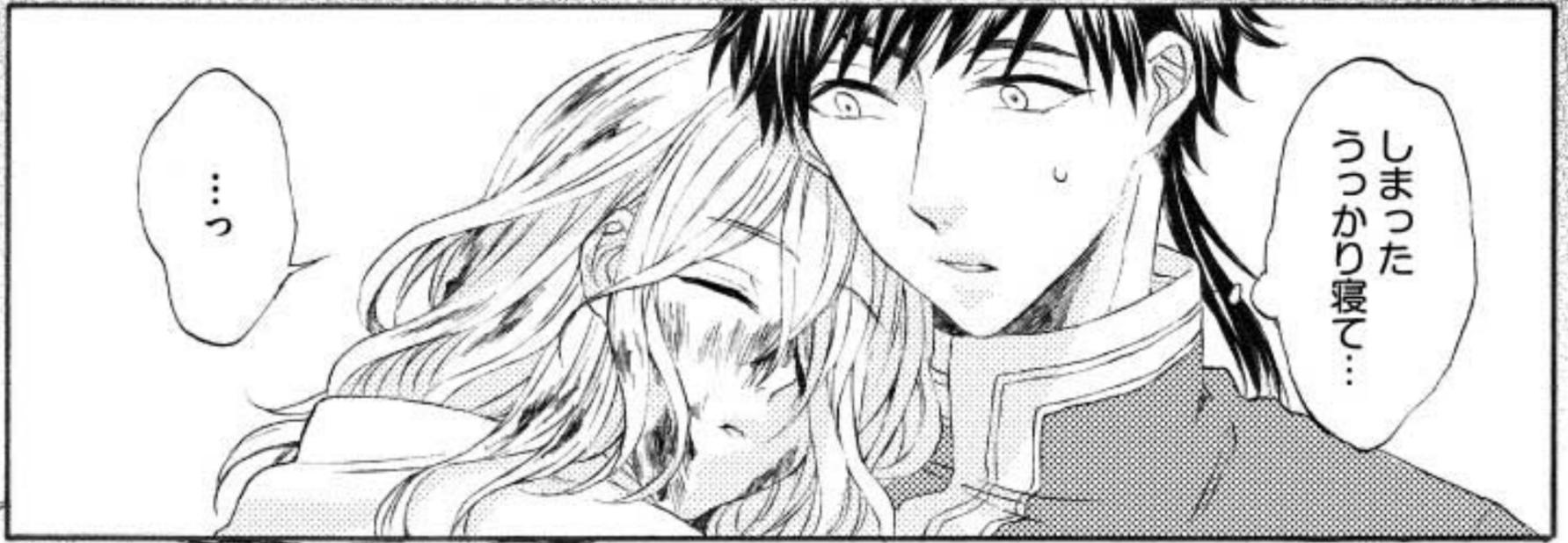
クワッ

お前を傷つけ
たりはしない

大丈夫、
俺は何もしない

もう
怖いこと
なんてない

クワッ



…っ

しまった
うっかり寝て…



ひい

お前、凄いな
どうやったんだ？



おい、調子は
どうだ？



お前が仕事中に
うたた寝なんて
珍しい



さあ…俺にも
わからない

目が覚めたら
抱きつかれていた



この子が温か
かったから…
つられてつい…



今は何時
ごろだ？

夕方少し前だ
飯が出来たら
持ってきてやるよ

ああ
助かる



…そういえばこの子
名前はなんて
いうんだ？

村人は皆
「ネルグイ」と呼んで
いるらしい

白鹿様にネルグイ
だなんて罰あたりも
いいところだ



名無し
ネルグイ……

これが……
白鹿……



白鹿は
輝く白い髪に
白い肌

神々しい美しさだと
幼い頃から
聞かされていた

入団式の日、遠目に
見た白鹿様とは
似ても似つかない





…ああ

しかし
身体の細さも気に
なるが、まずは
水浴びだな

明日、川に連れて行って
洗ってやってくれ
頼んだぞ、イルウェス



昨日とはずいぶん
雰囲気が変わった
な…









ほら見てごらん
この水は
凄く綺麗だ



ビーンヤッ

おっと

大丈夫、
怖くない

ギギン



パッパッ

こうしてると
まるで普通の
人間だな





身体を洗うから座ってくれるか？

こら、暴れるんじゃない

それにしてても...

この髪の毛... 凄いな...

.....よしやるか...

?



うーっ

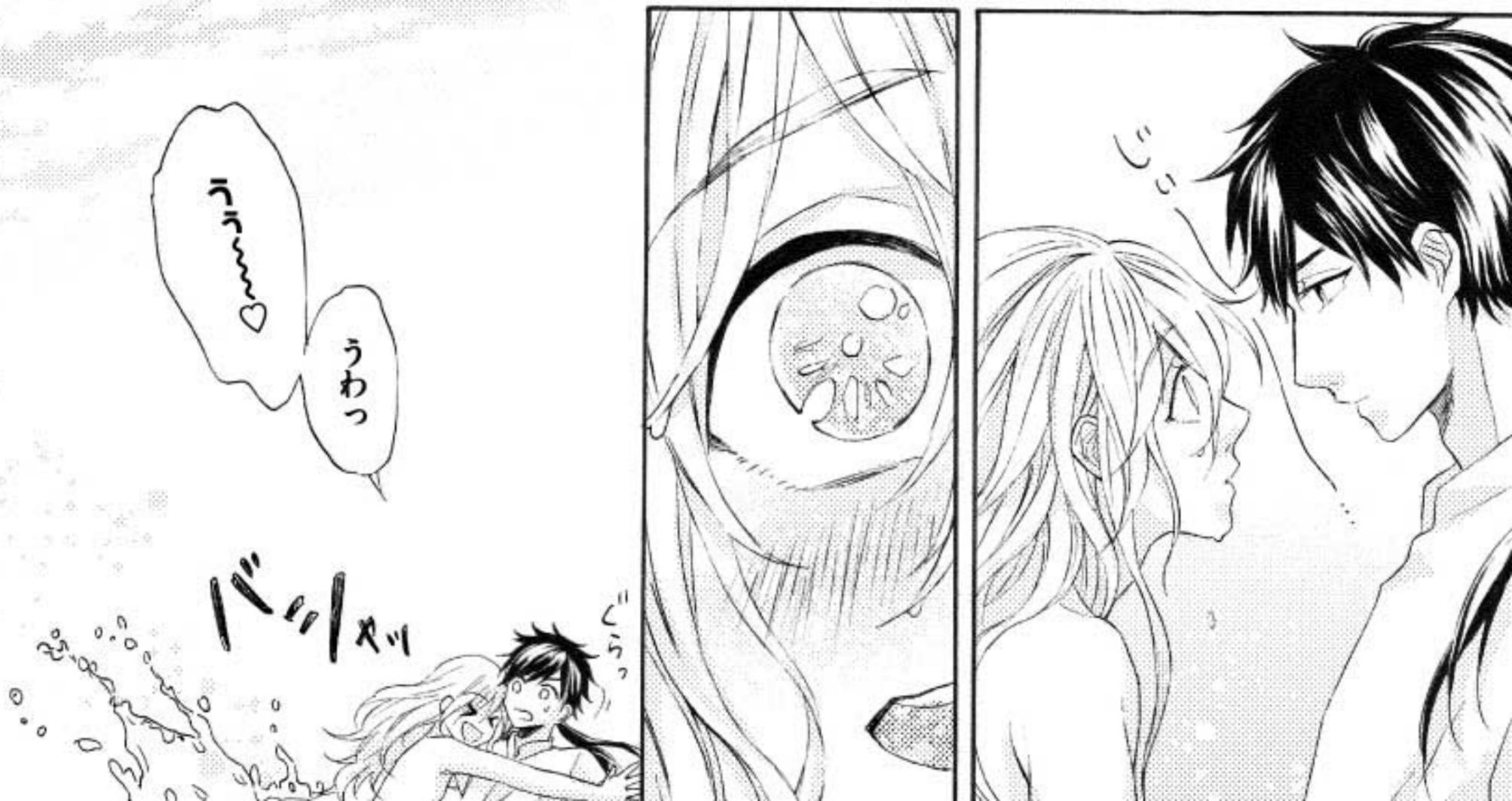
ほら
こっちは

ふー
出来た…



…







おーい
お疲れさん
終わったか？

サマル…



サマル
終わった…



この痣…

白鹿様、こんな
顔してたのか

ズイン



なんで俺はダメ
なんだよ…
ホントにお前
どうやったんだ？

傷…



かなり
骨が折れた

おーだいぶ
マシになったな

ガジ

ガジ



わからん
何も喋ろうと
しないんだ



さあ…



村人たちの様子は？
なんでこの子を
閉じ込めていたんだ？



ただ…

その珍しい
瞳の色と

この痣も原因の
一端だろうな



そうか…



ああ



じゃあ引き続き
よろしく頼むな



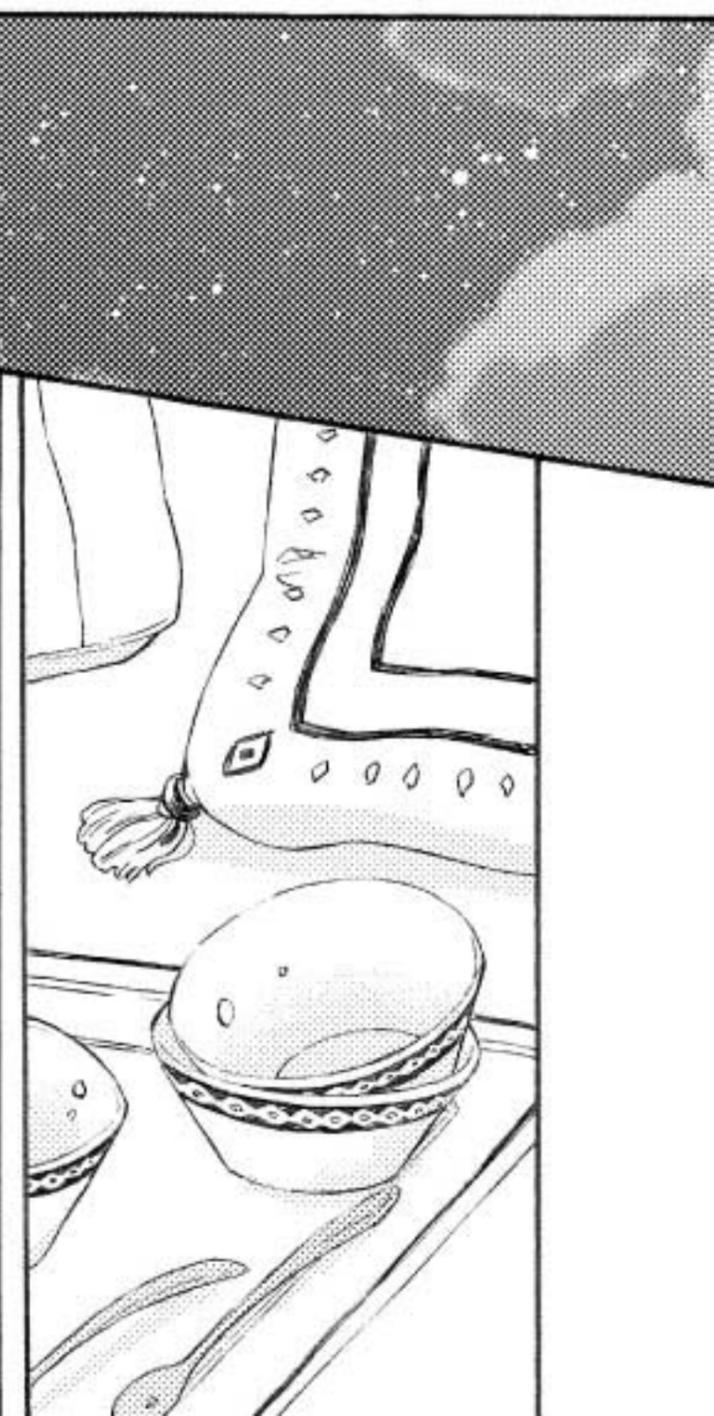
まあいい
向こうに白鹿様用の
テントを建てて
おいたから

飯を食ったら
そっちで休め

わかった



あ、
ネルグ…





…お前、名前が
ないと困るよな…



アルタ…
お前はネルグイ
なんかじゃない…



…アルタ^{金色}

アルタなんて
どうだ？



ああ、いまだに
俺以外の人間には
怯えるけど

その子、言葉は
通じるのか？

当初よりかは
マシになったな



ここ数日でだいぶ
その子も慣れて
きたな

そろそろ
出発するか



ふーん…本当の
狼みたいだな



…狼



話せはしないが俺たちの
言っていることは
理解しているみたいだ



ああ
この子の名前だ



アルタ?



アルタも俺たちと
同じ人間なんだから

ちゃんとした教育を
受ければ話せるよう
にもなるだろうな



ずっとネルグイ^{名無し}なんて
呼ぶのもどうかと
思っ

お前が
つけたのか?

ああ



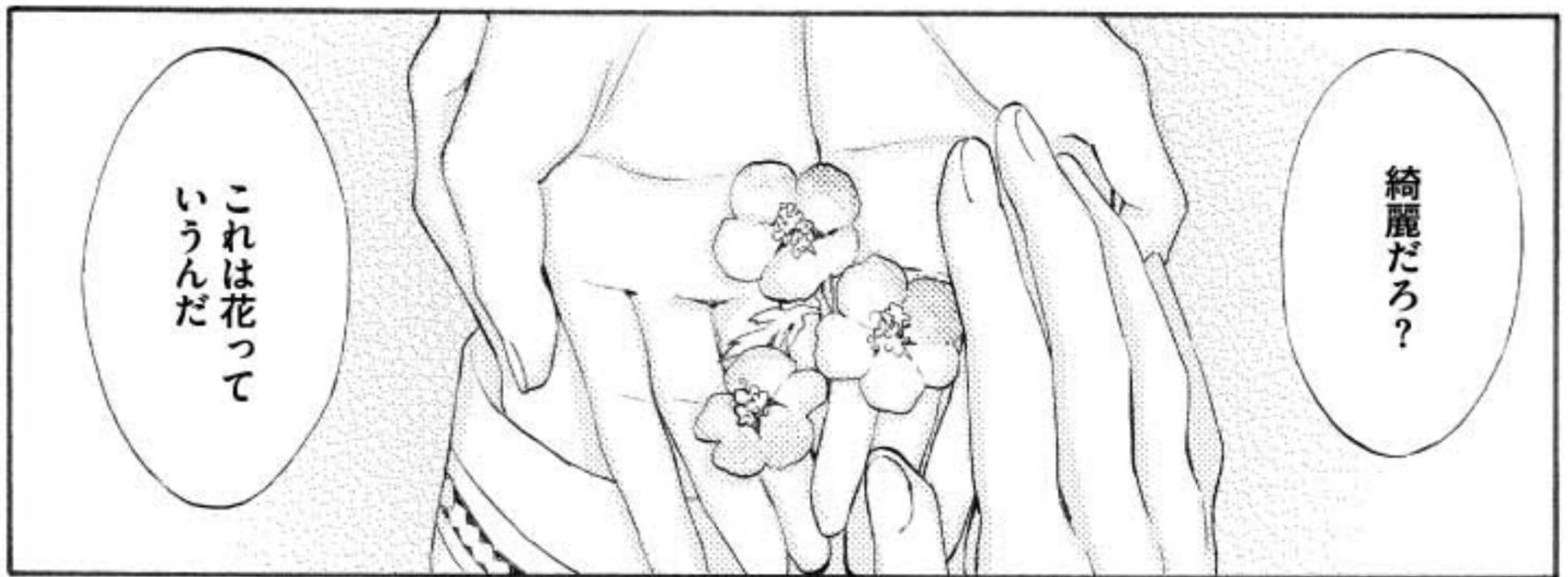
村を^た発つ準備を
しておけよ



勝手につけても
いいものなのか?

…まあ王宮に
戻るまでの仮の
名前だと思えば…







そんなすぐには
喋れないよな



ムン
ムン
ムン

普通の人と
なんら変わり
なんてない



違いなんて
何もないのに



そいつが生まれてから
村に病が流行り
だしたんだ!



何を言っ
てるんですか?



返せ、そいつを
返せ…

その化け物を外に
連れ出したら
俺たちが死んで
しまう



だがその化け物を
閉じ込めてから
流行病はぴたりと
おさまった!

だからそいつを外に
連れ出したらまた
村が病に襲われる!



化け物? この子は
白鹿ですよ?

この子の誕生と
流行病は関係
ありません

馬鹿言うん
じゃねえ!



アルタ…

ちよつと
離れてろ



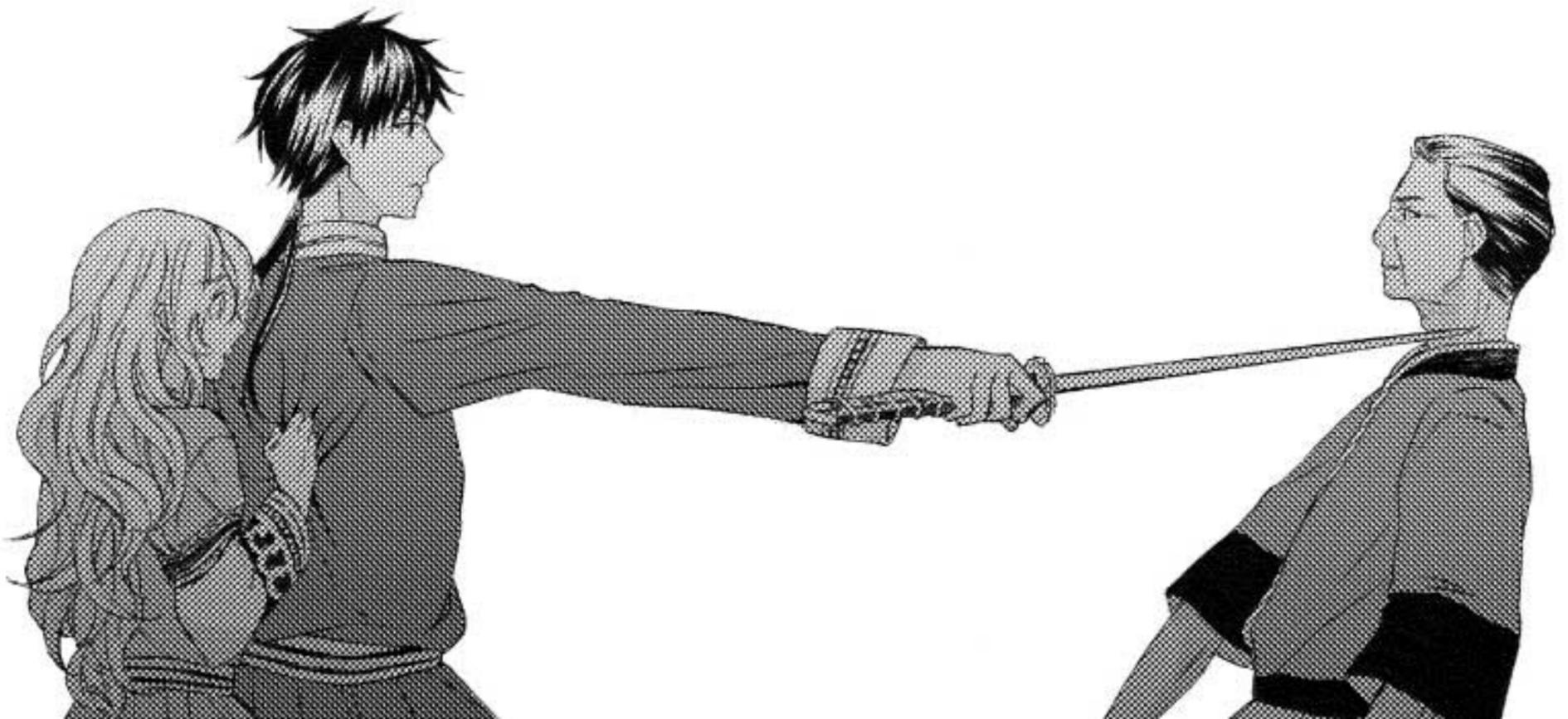
そいつが白鹿？
そんなわけがない！

そいつは白鹿を
装った醜い化け物だ！

やめろ
口を慎め

そいつを
こっちへ寄せせ！

いつそ今
殺して…っ！！





これ以上
白鹿様を侮辱、
隠匿を続ける
ようであれば

王族への反逆罪と
みなす



お、おしまいだ…
この村はもう
おしまいだ…



行こう
アルタ



生きている
だけだ



この世に生まれて
生まれたままの姿で
ただ生きていくだけだ

それなのに何故
そんなことを言われ
なければならぬ

——俺たちが何をしたっていうんだ



わかった
わかった
ここにいるよ

俺はまだ少し
仕事があるから



今日はもう
疲れただろう？
寝よう

明日から
移動で大変に
なるしな



思えば



髪も綺麗に
なってる

血色も少し
良くなった…

こんな風に
誰かと一緒に眠る
なんて初めてだ



この子の
これからの人生は
誰よりも幸せで
あるべきだ

王宮に行けば
幸せになれる



幸せに
してやりたい

遠く、幼い俺の
泣き声が
聞こえた気がした

